

## 第8回 国際コンテナ戦略港湾検討委員会 議事概要

日時：平成23年7月14日（木）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎3号館 8階国際会議室

○冒頭、委員互選により、木村琢磨委員が座長に選出された。

○阪神港、京浜港から、選定時の提案に対する取組状況と港湾運営会社指定に向けての検討状況についての説明を受け、各委員からは、下記のような意見があった。

(全般)

- ・戦略的な検討を行うため、経済指標等の基礎データを整理されたい。

(阪神港)

- ・ターミナルコストの低減は具体的にどのようにして達成させるのか明らかにしてほしい。
- ・昨年8月の選定以降、コスト低減、広域からの貨物集約等に関する様々な新規施策に着手していることは評価。今後は具体的な成果が上がるよう各施策の継続・強化に努められたい。
- ・港湾運営会社指定に向けての検討状況について、今年4月より神戸港埠頭株式会社、大阪港埠頭株式会社が業務を開始したことに加え、阪神港運営効率化協議会の準備会を設立するなど阪神港一体となった取組は評価。スケジュールに沿って引き続き精力的に取り組まれたい。

(京浜港)

- ・三港一体となって何にどのように取り組まれるのか具体的に示してほしい。
- ・東日本大震災対応として、予定になかった被災地港湾支援策、フィーダー航路復活支援策、放射線対策などの実施により国際戦略港湾の機能維持、向上に努めていることは評

価。

- ・一方で、昨年 8 月の選定以降着手した新規施策が限定されているなど必ずしも十分な取組がなされているとは言い難い。各港が連携しつつより一層精力的に取り組まれない。
- ・港湾運営会社指定に向けての検討状況について、民営化に関する東京、川崎、横浜の三港の進捗状況が異なることから、港湾単位での検討にとどまっている。H26 年度の統合に向けて三港が連携をより強化しつつ、スケジュールに沿った取組を加速されたい。

○計画書記載事項や港湾運営会社設立に向けた検討状況について、頂いたご意見を踏まえつつ、引き続きフォローアップしていくこととなった。次回は 11 月頃の開催を予定。

以上